

(国の統治機構に関する調査会)

国の統治機構等に関する調査報告要旨

本調査会は、立法府、行政府等国の統治機構の在り方及び国と地方との関係に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成二十五年八月七日に設置された。

本調査会は、「時代の変化に対応した国の統治機構の在り方」を調査テーマとし、一年目は「議院内閣制における内閣の在り方」、二年目は「国と地方の関係」を調査項目とした。

最終年に当たる三年目は、「二院制議会における今日の参議院の役割」を調査項目として取り上げ、立法及び行政監視の活性化への視点、二院制議会における両院の在り方、参議院の目指すべき姿について、参考人から意見を聴取し、質疑を行った。また、委員間の意見交換を行い、これまでの調査を調査報告書として取りまとめ、平成二十八年五月十八日、議長に提出した。

本調査会においては、国会機能の活性化、衆参両院の在り方、国会と内閣の関係、参議院の目指すべき姿等について広く議論を行い、報告書ではそれらを主要論点別に整理している。